

参加者の中に、ひとき
わ目立つ、終活にはま
だ早いと思われる女性
を発見！ なんと24歳。
「テレビで終活のこ
とをやっていて気になっ
て。入棺体験をしてみ
たいと思い参加しま
した」と、一人で参加

人生のエンディングを考えよう！

選べる 終活ツアー

死後、どう葬られたいか――。

少子化も進む中、墓に縛られ、子孫に迷惑をかけたくない。そう考える人たちが参加する
「終活ツアー」があるという。どんな内容なのか、本誌記者がのぞいてみた。

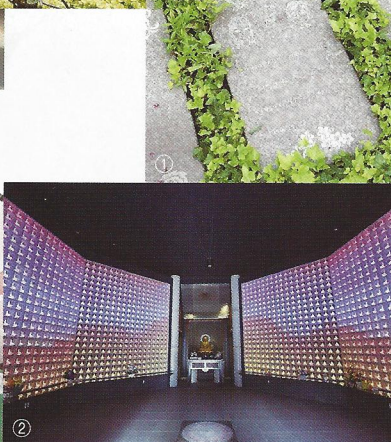
写真＝家老芳美、関口達朗 文＝山本真由（本誌）

高輪庭苑では埋葬から13年間個別区画に安置し、その後、納骨堂に10年安置した後、遺骨を土に還す仕組み。価格帯は50万～230万円。既に8割ほどは予約で埋まっている



樹木葬

終活バスツアー



琉璃殿の、古代ガラス技法で作られた仏像。その精巧さに見入る参加者たち

「先」を知れば
「今」が楽しめる

いろいろな埋葬の仕方を見学する「終活」のためのツアーが増えている。葬儀会社の「セレモニー」が開催する海洋散骨の体験ツアーでは、東京湾の観音崎沖で、模擬遺骨の上新粉と別れの花をまく体験ができる。

「人は海から発生したから海に還るのがいいと思って」

そう話すのは8月25日のツアーに夫婦で来ていた64歳男性。自分たち夫婦と妻の母親の行く先を考え、参加した。

この日はあいにく海が荒れ、船酔いする人も。だが、実際の場合も天気は選べないもの。リアルな体験になり、男性は「とても参考になった」と話していた。シニア世代向けの日帰り旅行を企画する「ぼけかる倶楽部」でも、終活ツアーが人気。記者が参加したのは、東京都港区にある浄土宗道往寺の高輪庭苑の樹木葬や、終活カウンセラー協

終活ツアー情報

「お土産＆体験満載の終活フェスタと都心型樹木葬・光る納骨堂を見に行こう！」

ほけかる倶楽部

☎03-5652-7072

「海洋散骨 体験クルーズ」

セレモニー

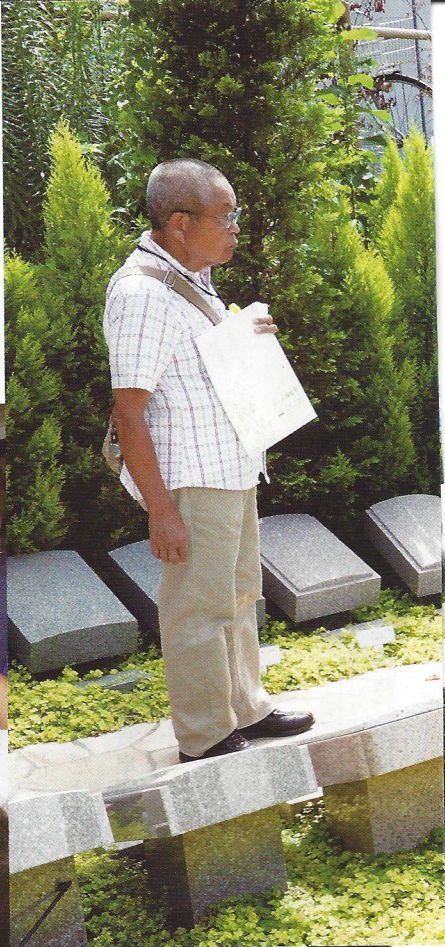
☎0120-41-1147

※今年の予約受付は終了しました。

悪天候で波が荒く、船酔いする参加者が多数出たが、散骨体験時の表情は真剣。「すごく飛ぶね」と舞っていった花を見て感慨深げに手を合わせる

海洋散骨

体験クルーズ



①家族以外で墓を共有することが可能。この墓石には2組の夫婦の名前が刻まれている

②納骨堂「琉璃殿」(東京・牛込)。2046基の仏像が壁一面を埋め美しく光る様子は圧巻

③バスツアーには品川プリンスホテルでのランチビュッフェも含まれている

④終活フェスタで遺影のためのメイクを受ける



会が主催する「終活フェスタ2014 in 東京」などを巡るもの。高輪庭苑は宗派を問わず、誰でも入ることができる。「泉岳寺駅から徒歩1分と立地もよく、ここなら子どもや孫が来てくれるかもと安心される方も多い」と担当者は話す。

ツアーには、女性の参加者が

多かった。友人と参加した埼玉

県在住の60歳の女性は樹木葬か海洋散骨を検討しているという。

「夫の実家の立派なお墓はあるけど、死んでまで夫や姑と一緒に墓には絶対入りたくないの」

そう話す表情は明るく、遺影は「大好きな演歌歌手と一緒に撮った写真と決めている」と嬉しそうに答えてくれた。また、

別の60代女性は「死んだら、何もなくなるのが理想」とも。

「お墓に入れられてしまうという不安がなくなり、最終的に行き着くところが決まれば、それまで楽しく生きていける！」

どこまでもポジティブなのが印象的だった。